

【研究開発の名称】自動車のOBD-IIとスマートフォンの連携を用いたテレマティクスデータ活用技術(2014年度採択課題)

## ■ 開発の経緯・概要

- 専用のデバイスを車につけるだけで簡単に自分の運転や燃費の確認、車の健康診断ができる専用デバイスとスマートフォンアプリを開発し、これまで取得できなかったデータの利活用による既存産業の変革と新たなビジネスモデルの構築を目指す。

## ■ 現状の成果

- 法人向けの車両管理システムや個人向けの定額制コネクテッドカー、高齢家族の運転見守りサービスなどのプロダクトをリリース(2018年5月)
- アクサ損害保険(株)との保険商品開発、住友商事(株)との商用向け車両管理サービス開発、日本GLP(株)との物流向けソリューション開発といった資本業務提携の締結および事業開発の開始(2018年から順次開始)。
- 走行データ解析プラットフォームの外部提供の開始(2018年から提供開始)。

## ■ 会社概要

	設立時 2013年10月	採択時 2014年9月	現在 2018年9月
資本金	1百万円	16百万円	100百万円
従業員数	1人	1人	45人

## ■ I-Challenge!活用による成果

### 【PoCの成果】

- 開発したOBD-IIデバイス及びスマートフォンアプリによる実車テストを通じてデータを収集・分析し、保険会社が求める高水準のドライブデータ分析結果の提供に成功。
- スマートフォンアプリのSDKを第三者提供し、データ収集に活用。

### 【I-Challenge! ここがすごい!】

- I-Challengeの第一号案件という看板が、製品営業時の顧客開拓や大企業との事業提携時に加えて、資金調達時の信頼を高める効果につながっている。
- 現在までに、総額28億円の資本調達につながった。

### 【事業化支援機関からの支援内容】

[事業支援機関:(株)セールスフォース・ドットコム]

- 顧客ニーズ・市場性の調査支援
- 事業計画作成支援
- 事業提携時の候補先開拓支援

## 【事業全体像】



OBD-II...On-board diagnostics(車の自己診断機能)

(注)採択企業名・事業化支援機関名は採択時のもの。